



四中だより

令和8年(2026年)
1月8日(木)

豊中市立第四中学校

3学期は、次への学期!!



長い冬休みでしたね。ご家族とたくさん過ごしましたか。

私は今までは大掃除を一気に一日で片付けていましたが、少しずつ分けて丁寧にしていました。きれいになると気持ちもスッキリして、新しい年を迎えられました。

大掃除の中で、読み終わってたまっていたコミックを売りに行きました。

査定してもらっている間に、2階の古本コーナーに足を向けると、久しぶりに「本が呼ぶ」経験をしました。

本好きな人はわかると思いますが、たくさんの本の中から「読んで、読んで」と、一冊の本が呼びかけてくることがあるんです。そして買ってしまいました。

美しい日本語の単語を紹介するエッセイです。

また何か新しい言葉を知るきっかけになりそうです。

12月30日の夜は、これまた久しぶりに『輝け日本レコード大賞』を見ていました。

私たち昭和世代は大晦日にしていた歌の祭典も今ではその前日に。

メディアも音楽も多様化して、耳にはするけど、この曲はこのグループが歌っていたのかといった発見も。レコード大賞はやはり「ミスグリーンアップル」の『ダーリン』でした。知ってはいたけど歌詞をじっくり聞いていなかったけど、なかなか深い曲ですね。

「ミス」のヴォーカルの大森元樹さんは音楽に没頭するあまり中学校へはあまり通わず、通信高校に通いながら楽曲づくりにのめりこんでいったとか。

そこまで打ち込めるものに出会って、それで大成できたのだから本当に幸せな人物です。打ち込める好きなものに出会ってほしいなあと、私は常々君たちに対して願っています。

『ダーリン』の最後のフレーズが凄い。

この曲のテーマって、自尊心(*自分を大切にする気持ち)とか自己肯定なのかな？

“本当の音を聴いて”って、「本音」を聴いてってことなんだろうか。

その「本音」って、「誰かの私」ではなく「私の私で居てもいいの？」という問いかけであり、「あの子にはなれないし、なる必要もないから」という最後の自己肯定ですよ。

1月は行く、2月は逃げる、3月は去るといったふうに慌ただしく時間は過ぎていきます。「誰かの私」ではなく「私の私で」あるように、没頭できる何かに出会えるように新しい春からの生活のための3か月。厳しいたくわえの冬の学期です。頑張りましょう。

各学年の1月の主な行事

- 全学年： 生徒議会（15日）・生徒会実行委員会（19日）
- 1年生： 平和学習（9日）・チャレンジテスト（14日）
- 2年生： チャレンジテスト（14日）・薬物乱用防止教育（20日）
学年集会（22日）
- 3年生： 実力テスト④（14日）、私立出願（22日）、
学年末テスト（26,27日）。

受け身はいくらやっても受け身、 「自分から」を大切にしてお力をつけよう。

「一年の計は元旦にあり」と言いますが、何か今年の目標は立てましたか？

多くの人が学校で勉強して、そのうえ塾に行っても勉強してたりしますが、どれくらい身につけていますか？

最近、巷（ちまた＝まわり・世間）で言われていることは、主体性（しゅたいせい）。

つまり「自分から行動を起こす」ということ。

保護者から、他人から言われるからとか、注意されるからとかではなく、ずっと付き合っていく自分には何が足りないか、どうしたら自分ももっと良くなるのか、それにはどうすべきなのか、という視点で行動を起こさないと何事も身につけません。

だから、以前も言いましたが、自分を鍛えるのは自分でしかないので。

校訓「自ら考え、自ら行い、自ら責任をもつ」の、「みずから」を大切に一年にしてください。

少しずつその姿勢を続けていたら、君は絶対に変わります。人生も変わります。

もっと声を出そう!! しんどい時こそ声を出そう!!

日頃からもっと声を出していこう!!

それともう一つ、年頭にあたって君たちに頑張ってもらいたいこと。

これは昨夏にいろんな部活の試合を見に行き行って感じたこと。また体育大会の時にも感じたこと。

アニマル浜口ではないけど、もっと気合を前面に、声を前面に出していいんじゃないかな？ 試合や本番に急には声は出ないよ。日頃から出して置かないとね、声ってやつは。

心の中でかみしめているかもしれない。でも、声を出し合おうよ。声を掛け合って行こうよ。声ってたいせつだよ。みんなではやし立てる声ではなく勇気の出る声を出そうよ。